

業 務 瓦 版

2012年11月16日

第 2 号

J R 東海労新幹線地本
業 務 部

SMTと団体交渉開催！

＜ 出向先会社の労働条件改善で団体交渉実現 ＞

新幹線地本は2012年11月16日、発第5号「団体交渉開催の申し入れ」について新幹線メンテナンス東海株式会社（SMT）と団体交渉を開催しました。

組合員の声に基づいて出向先会社の労働条件改善のために協議しました。

申し入れ内容および回答については以下の通りです。

＜ 新幹線メンテナンス東海株式会社との団体交渉回答について ＞

2012年11月16日

J R 東海労新幹線地方本部

1. 協議内容： J R 東海労幹地発第5号、2012年10月9日付による新幹線メンテナンス東海株式会社と（SMT）との団体交渉
2. 開催日： 2012年11月16日 10時30分より
3. 会場： SMT 本社4F会議室にて
4. 交渉員： 組合側 成田委員長、森谷副委員長、木藤執行委員、山口執行委員、土川執行委員
SMT 側 村田勤労担当部長、大野木検修課長、武井管理課長、大内社員課長、石寄社員課長代理
5. 回答内容： 以下のとおり（申し入れ事項及び回答のみ）

「団体交渉」開催の申し入れについて 記

I. 大井第一・第二事業所に関する事柄について

1. 各事業所とも年休を取得することが大変難しくなっています。長期病欠者もあり、年休取得に必要な要員の確保を要求します。

【回 答】 必要な要員は配置している。

2. 毎月10日に翌月の休日指定の発表がなされますが、大井第二事業所では今年7月までのように日勤は8日分を夜勤は11日分を指定されるように要求します。

【回 答】現状で問題ないと考えている。

3. 同じ大井車両基地にある大井第一事業所と第二事業所では作業本数に大きな差があり、不公平感があります。よってバランスよく平準化されるように要求します。

【回 答】入庫本数については権限外事項である。作業を完了するための人員は配置している。

4. 今夏の暑さは今までにも増して非常に厳しく、9月になっても連日30度を越す状況であります。このような中、大井第一・第二事業所の検修庫サービスデッキの上・下においては40度に至ることもあり熱中症の危険と常に隣り合わせにあります。グリーン車付近、つまり検修庫の中央付近の通気口を大きくするなど、通気状態の改善を要求します。

【回 答】換気扇および高窓の開閉により空気の入れ換えを行っているものであり、現状で対処されたい。

5. 昨年発生した東日本大震災によって、大井第二事業所SMTビルの階段の壁などに発生したひび割れは、一年半以上たった現在でもガムテープを貼り付けた程度のみです。建物の強度に対する不安もあり、早急に点検と修復工事を行うように要求します。

【回 答】耐震上強度は問題ない。

6. 大井第二事業所の日勤の内装作業が1班体制となつてから、番線移動が非常に多くなり、足の指の付け根・裏側等身体に痛みが出るなど負担が増えています。よって、番線移動をできるだけ少なくしたり、検修庫の中央付近に地下通路を新設するなど、番線移動が容易に出来るように改善を要求します。

【回 答】番線移動は業務上必要であり現状で対処されたい。

7. 各事業所とも更衣ロッカーが小さく、制服・アノラック等の収納が困難であるため、大きなロッカーへの交換、もしくは半ロッカーの追加設置を要求します。

【回 答】ロッカーについては見直す考えはない。

8. ロッカー室にゴミ箱を設置されるように要求します。

【回 答】ゴミ箱は事業所内に設置してあるのでそれを利用されたい。

9. 大井第一・第二事業所では、⑮号車⑯号車内掃担当者など上り方は待機場所がありません。深夜における立ったままの待機は疲労が増します。よって、上り方の各ユニットに簡易型の椅子の配備を要求します。

【回 答】必要な設備については配備済みである。

10. 大井第二事業所では内掃用のグリーン車のハンディークリーナーが老朽化し、性能も衰えて効率が悪くなっています。新品に換えるよう要求します。

【回 答】 必要の都度取り替えている。

- 1 1. 大井第二事業所の待機室（2階）の空調装置は旧式のもので故障がたびたびです。よって、空調装置を新型に交換するようお求めします。

【回 答】 空調等の設備については故障が発生する都度、必要な対応をとっている。

- 1 2. 制服の洗濯については各自が自宅に持ち帰って洗うというのが現状となっています。このことはセキュリティーの確保及び衛生面から鑑みて問題がありますので、会社において責任を持って行うよう求めします。

【回 答】 制服は自己の責任で管理するのが当社の方針である。

II. 東京ターミナル事業所に関する事柄について

1. 遅出勤務者は現在3名ですが、夕方の忙しい時間帯は、曜日によって日勤者の超勤をもって対応しています。この日勤者の超勤対応を解消し、遅出勤務者を4名体制にすることを求めします。

【回 答】 見直す考えはない。

2. ターミナル事業所の男性要員は、平成24年4月から25名体制のままとなっており、9月からはアシスタントマネージャーが下職代務をして補っていますが、以前のように27名体制とすることを求めします。

【回 答】 必要な要員は配置している。

3. 第8・第9ホーム下のズック詰め箇所に、熱中症対策のためにスポットクーラーの設置を求めします。

【回 答】 必要な対策は実施している。

4. 第7・第8・第9ホーム下のズック置き場のスチール柵については溶接が取れている箇所があり、ズックを取り出す際に思わぬ事故や怪我を発生させる危険があるため、早急に修繕をすることを求めします。

【回 答】 仮補修済みである。

5. ホーム上のゴミ回収時に電動台車を使用していますが、ホーム上にお客様が多い時は思わぬ接触事故が発生する恐れがあり対策が必要であると感じています。よって、中央潜り戸付近に常設カゴを設置して、ホーム下からでもゴミをズック詰め箇所まで運べるようにすることを求めします。

【回 答】 現行通りとする。

6. ターミナル事業所では、作業時においても出入証をストラップで首からぶら下げ胸に結着していますが、作業中にこの出入証が何かに引っ掛ることがあり思わぬ

事故や怪我の原因となる心配があります。また、引っ掛かったことに気が付かず紛失する恐れもあるため、出入証について作業中はポケットに収納することを基本とし、必要な際には提示するというようにすることを要求します。

【回 答】 J R東海からの統一の指導であり、当社単独で見直す考えはない。

7. 山本修さんについては健康・体調管理上のことから、東京駅ホーム派出もしくは品川駅車椅子担当への坦務変更を要求します。

【回 答】 第三者機関で協議されていると聞いており、この場での回答は差し控える。

以 上

*私たち新幹線地本は職場の組合員・社員の声をもとに、安全で働きやすい労働条件および職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。問題点や要望事項等があれば JR 東海労新幹線地本までお知らせ下さい。